

都市施設等整備に関する取組に係る市民意見募集（実施結果）

1 募集期間 令和元年12月16日（月）～令和2年1月24日（金）

2 提出件数 8人／19件

3 意見の要旨及び市の考え方

取扱区分：A（意見を反映）0件，B（実施にあたり考慮）0件，C（原案に考慮済み）4件，

D（説明・回答）15件

No.	市民からの意見（概要）	取扱区分	市の考え方
都市計画道路に関すること（全般）			
1	<p>優先事業として稲荷山線と山手線が挙げられている。人口減少や超高齢化社会の到来が述べられているが、それであれば道路整備を進めるという結論になると思えない。</p> <p>山手幹線整備の時と同様、そこには生活している市民が存在する。直接関係する人にとってはとんでもない計画であり、当該者の賛同無しに絶対不可能な計画だと言える。</p>	D	<p>都市計画道路は、都市の骨格を形成し、安全で安心な市民生活と機能的な都市活動を確保する、都市における最も基幹的な都市施設であり、人口減少、超高齢化社会においても、暮らしやすい都市構造の実現を図るため、順次整備を進めていく必要があると考えております。</p> <p>この度の「都市施設等整備に関する取組」は、社会的状況の変化等を踏まえ、より一層の効率的かつ効果的な取組を進めていくため、道路ネットワークや防災安全等における課題解消の観点から、優先して実施すべき事業などについて検討を行った結果を示したものです。</p> <p>都市計画道路等の整備に際しては、計画の区域内ならびに沿道にお住まいの皆様をはじめとして、ご理解・ご協力を得ながら取組を進めてまいります。</p>
2	<p>市街地における格子状ネットワークは不要であり、むしろ害悪である。活力あるまちづくりにつながるのか疑問です。</p> <p>道路整備のために住民を追い出さずにはいけません。</p>	D	<p>都市計画道路等の整備に際しては、計画の区域内ならびに沿道にお住まいの皆様をはじめとして、ご理解・ご協力を得ながら取組を進めてまいります。</p>
都市計画道路に関すること（稲荷山線）			
3	<p>稲荷山線は翠ヶ丘町のコミュニティの分断、岩園町、楠町への交通公害の増大、緑も失われることから、整備に反対です。</p> <p>南北ネットワークの強化であれば宮川の上を道路にして拡幅を行い、芦屋浜までの延伸を検討して下さい。</p>	D	<p>都市計画道路稲荷山線は、防潮堤線から山麓線に至る地域環状軸として、南北方向の移動円滑化に重要な役割を担うとともに、格子状の道路ネットワークを形成することで交通機能や防災機能の強化に資する路線であること、また、JR打出村踏切における安全性等の課題解消や、当都市計画道路に並行する周辺道路の状況を踏まえ、歩行者及び自転車の安全な通行路の確保を図ることなど、ご提案の宮川線の拡幅は整備目的・効果が異なるものであり、未整備区間の整備が必要と考えております。</p> <p>また、道路整備に伴い生じる沿道環境等に係る課題の改善につきましては、地域の皆様へのご理解・ご協力をいただきながら、事業化等に際しては、可能な対策を検討してまいります。</p>

都市計画道路に関すること（山手線）		
4	山手線の全線整備は芦屋川横断橋梁を含め、立退きも多くなり、通過交通を嫌う住民感情からも不要と思う。	D 都市計画道路山手線は、並行する周辺道路の状況として、歩道等が整備された道路がなく、歩行者及び自転車の安全な通行路の確保や、地域における都市の骨格として、良好な市街地を形成し、地域の安全性・防災性の向上に資すること、また、南北道路とのネットワークの構築により、山手地域における移動円滑化に大きく寄与する路線であることから、未整備区間の整備が必要と考えております。
関連事業に関すること（阪神本線立体交差）		
5	阪神芦屋駅、打出駅は乗降客数が多く、踏切の利用は車などの通行も含めて利便性が悪いと思います。一日も早く立体交差点にしてください。打出商店街も、もっと長く延ばす事が出来るのではないのでしょうか。	C 阪神本線との立体交差は、都市計画道路稻荷山線の整備効果を高める観点から、当都市計画道路の事業化の動向や地域の要望等も踏まえ、実施を検討する事業として研究・調査を行うこととしており、南北方向における道路ネットワーク分断など、都市構造の課題解消や交差道路における通行の安全性・円滑性の向上に資するものと考えております。 また、駅周辺における商業の活性化につきましても併せて検討を行う必要があると考えております。
関連事業に関すること（阪急芦屋川駅交通結節点機能整備）		
6	<p>阪急芦屋川駅周辺整備に関して、現状、朝夕の通勤、通学の送迎車により、交通渋滞などが、頻繁に常態化しています。当駅南地区のロータリー、乗降場所、駅導線確保などの施設整備を望みます。</p> <p>駅北側商店街は、賑わいが欠け、現状のままでは衰退していくと思われまます。商店街の道路幅員は狭小で、歩行者への安全確保が困難なことから、道路幅員の拡幅と同時に、容積率を緩和し、各地権者において中高層建築物の建設を促し、セットバックを条件付けするなどの対策で、この点が解消される可能性があります。</p> <p>芦屋川北地区においては景観、環境的にも配慮にかける部分があり、改良されることが望ましいと考えます。また、登山者などの待ち合わせ、憩いの場など、北の玄関としてふさわしい環境整備を実施すべきと考えます。</p>	C <p>阪急芦屋川駅周辺における面的なまちづくりや交通広場などの交通結節点機能整備は、都市計画道路山手線の整備効果を高める観点から、当都市計画道路の事業化の動向や地域の要望等も踏まえ、実施を検討する事業として研究・調査を行うこととしており、良好な市街地形成や駅へのアクセス強化など、地域核としての魅力や利便性の向上に資するものと考えております。</p> <p>また、駅周辺における商業の活性化につきましても併せて検討を行う必要があると考えております。</p> <p>なお、現状の駐停車などによる課題への対応につきましては、芦屋警察への指導要請とともに啓発等にも引き続き取り組んでまいります。</p> <p>その他、ご提案いただいた、道路拡幅、駅ビル建設、駅舎施設の改良などに関することにつきましては、整備事業の実施に際し、貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>
7	阪急芦屋川駅周辺では、朝夕、子ども	C

	<p>の送迎で待機する車があふれ、通行する車やバスの通行の妨げになっているのが現状です。</p> <p>商店街に点在する店舗や託児所・医療施設等を収容できるような駅ビルをつくり、駐停車可能なロータリーも整備することを提案します。</p> <p>また、容積率を上げることで、スーパーなども開業しやすくなると思います。そうすることで、阪急芦屋川駅周辺も活性化され人も店舗も自然と集まってくる街になると考えます。</p>		
8	<p>阪急芦屋川駅周辺は送迎の自家用車、配送トラック、タクシー等の迷惑駐停車が多く、通過車両にとって危険である。また、駅北側商店街の道路は歩道もなく、歩行者・自転車にとって危険である。</p> <p>商店街の衰退、築後数十年の木造住宅、小規模のビル等が混在し、道路も狭く防災上・景観上も好ましくない。住民も買い物に不便である。</p> <p>阪急芦屋川駅の改札前やホームでは狭い場所があり、危険である。エスカレーターも無い。</p> <p>この問題点を解決するため、以下を提案する。</p> <p>山手線のうち、芦屋川以西を先行して整備を行う。また、商店街と山手線をつなぐ南北道路を新設し、さらに商店街は北側を拡幅し、対面通行を可能とさせる。(制限速度は時速10キロメートル)</p> <p>駅ビルを建設し、1階に一般車両、バス、タクシーの駐停車場、2階以上に現在の店舗や居住者用と売却用の住宅を設け、エスカレーター、ホーム整備を行う。</p> <p>緑のある広場、駐車場の整備など、市民、地元住民の意見を取り入れて再開発を行う。</p>	C	
「都市施設等の整備に関する基本方針」に関すること			
9	<p>基本方針の視点①道路ネットワークと視点④市民意見ですが、順序として逆</p>	D	<p>「都市施設等の整備に関する基本方針」に示す、将来目指すべき都市構造に向けた整備のための留</p>

	転が必要です。		意すべき4つの視点(道路ネットワーク, 防災安全, 生活利便, 市民意見)に優先度等は設けておらず, それぞれが重視すべきものと考えており, 今後の取組の中でも, 市民の皆様からのご意見・ご要望の把握と反映に努めてまいります。
都市計画道路の評価に関すること			
10	稲荷山線と山手線を優先整備路線にするということですが, 評価結果の一覧表は添付されているものの, 評価項目ごとの根拠は全く載っていません。これでは, 意見の言いようがない。	D	優先整備路線の選定に際しての, 都市計画道路の評価は, 表1「都市計画道路の評価結果」(資料5頁)の最下欄「備考」に示す項目毎の考え方にに基づき行っております。
11	「事業経済性」では, 具体的にかかる工事費の概算も示されないままに評価が下されています。人口減少が予測されるなかで, 果たして財政破綻を招かないかなど, 費用対効果がどのような設定の下で判断されたのか示されていないので, 良いとも悪いとも言えない。	D	事業経済性評価では, 費用対効果の観点から, 対象路線の整備の有無により生じる便益に対し, 要する一定の費用の比率を算出することで, 評価を行っております。この「一定の費用」は, 都市計画道路9路線の相対評価を目的として, 過去の事業実績等から可能な範囲で算出したものであり, 事業実施時における概算事業費とは相違するものであることから, 明示することは適切ではないと考えております。
12	市民意見の項目では, 関心度が評価の対象になっていますが, どれだけの関心を市民が示したのか説明されていません。関心度の根拠を示していただきたい。	D	市民意見は, 「集会所トーク」・「まちづくり懇談会」をはじめ, 日常の広聴等における, 各路線の整備や現状課題への対応に関するご意見・ご要望及びその継続性を基に, 関心度として評価を行ったものです。
13	気候危機とも言われる今, 環境という視点が欠落した評価になっているのではないのでしょうか。	D	都市生活に伴う様々な環境問題への対策として, 緑化や循環型社会の構築など, 自然に優しい都市環境の形成を進める必要があると認識しております。 都市計画道路等の整備に伴う環境負荷の低減につきましては, 地域の皆様へのご理解が得られるよう, 事業化等に際し, 可能な対策を検討してまいります。
市民意見募集の実施に関すること			
14	告知の在り方について, 「都市施設等整備」では, このテーマが「稲荷山線, 山手線を優先する」ということであるかどうかわかりません。標題にこれらの路線名を記載する必要があったのではないのでしょうか。 市民からの声を聞きたいというのがパブコメの趣旨なら, 今後は内容がわか	D	「都市施設等整備に関する取組」は, 稲荷山線, 山手線の整備のみを取り上げたものではなく, 都市計画道路を含めた都市施設等の整備に関し, 優先して実施すべき事業などについて検討を行った結果を示したものです。 市民意見募集の実施に際しましては, わかりやすい表記等による周知に努めるとともに, 内容につきましては, 情報公開を念頭に置き, 明瞭かつ適切な

	<p>るような告知にしてほしい。</p> <p>情報公開を公約に掲げた市長の思いと違う行政の判断根拠が伏せられたパブコメになっているのではないのでしょうか。</p>		資料の作成に引き続き取り組んでまいります。
<p>その他市の施策に関すること</p>			
15	<p>具体的な例を挙げるとすれば、市営住宅跡地を売却するのではなく、集会所、保育所、老人ホームの建設など、もっと夢と希望が持てる施策を望みます。</p>	D	<p>公共施設につきましては、市民の皆様が求める役割・機能を果たすとともに、社会情勢やニーズの変化に即した適切な配置・運営に取り組んでいるところです。</p>
16	<p>市長の公約でもある、小型バスの運行調査を至急実施してください。三条町北、山手町北の地区などにおいて、一人暮らしのお年寄りも多く、山手にお住まいの高齢者はなかなか、外出できにくい状況です。</p>	D	<p>小型バス（コミュニティバス）の運行は、地元機運の醸成に応じて、既存の公共交通等を補完する施策を市民、事業者及び行政が連携・協働しながら検討することとしています。実施事例の調査・研究とともに、運行実験の実施等も見据え、まずは、地域の皆さまのご意見・ご要望を把握するため、関係する自治会等に聞き取りを行っているところです。</p>
17	<p>先ず自転車の歩道の通行禁止をするべきです。歩行者にとって大変危険です。自転車専用道路の整備が何より急がれます。</p>	D	<p>「自転車は車両として車道走行が原則」とされていることから、本市では、自転車の安全利用を促進するため、「自転車ネットワーク路線」として選定した都市計画道路等において、自転車道等の整備を進めるとともに、自転車利用ルールの周知・利用マナーの向上に取り組んでいるところです。</p>
18	<p>住宅地域内の道路では車が入り込んできて歩行者にとって大変危険です。通過車両をなくすため、至る所で自動車を通行止めにするべきです。住宅地域内道路の主人公は地域住民であり、子どもの道路上の遊びの復権が求められます。</p>	D	<p>住宅地域内等の区画道路や細街路においては、日常生活に関連する交通の処理や、通過交通が流入している実態を踏まえ、歩行者や自転車に配慮した道路空間の整備を検討してまいります。</p>
19	<p>道路整備費用を未来への投資である教育に向けるべきです。（少人数学級にするための教員の増員）</p> <p>さらに、思い切った少子化対策が必要です。（子の誕生で数百万円を夫婦にプレゼント）</p> <p>市民を大切に市政が求められます。この計画は市民より利便性第1の発想です。これでは、豊かな市民生活の権利、福祉が保障されません。</p>	D	<p>限られた財源を有効に活用するため、市の政策目標の実現に資する事業の優先順位の精査と見直しを行うとともに、都市計画道路等の整備は、国の補助金等の活用を図りながら進めてまいります。なお、ご提案いただいた内容につきましては、今後の市政運営に際し、貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>